

土木関係被害復旧等状況(1)

| | 被害状況等 | 復旧作業状況等 |
|---|---|---|
| 施設区分 | 7月11日 16時00分現在 | |
| 道路 | ○全面通行止め 5路線5区間 [国道342号] 一関市巖美町天王～須川温泉(土砂崩落、落橋-祭時大橋) | 白崖地区復旧工事中、市野々原地区迂回路7月中旬の開通を 目途に工事中、祭時～県境詳細調査中 ※秋田県情報 6月25日13時 秋田県側から須川温泉までの全面通行止め が解除。日中：片側交互通行(9:00-17:00のみ) |
| | [国道397号] 奥州市胆沢区若柳字市野々～秋田県境(法面崩壊) | 通行止区間内土砂撤去中 |
| | [主要地方道花巻衣川線] 奥州市衣川区大平(法面崩壊) | 測量調査中 |
| | [主要地方道栗駒衣川線] 奥州市衣川区餅転橋(路面損傷) | 測量調査中 |
| | [一般県道衣川水沢線] 奥州市胆沢区大袋(路面陥没) | 規制解除に向け工事中 |
| | ○片側交互通行 4路線5区間 | |
| | [国道107号] 西和賀町ゆだ高原駅付近(路面沈下) | |
| | [主要地方道花巻衣川線] 奥州市衣川区小田(路面損傷) 奥州市胆沢区下鹿合(路面損傷) | |
| | [主要地方道盛岡横手線] 雫石町南畑～西和賀町沢内川舟(土砂崩落) | |
| | [一般県道夏油温泉江釣子線] 北上市和賀町内鱒沢(法面崩壊) | |
| ○復旧済箇所 [主要地方道栗駒衣川線] 奥州市衣川区楢原新橋(路面陥没)→6月18日 規制解除 [主要地方道花巻衣川線] 金ヶ崎町永栄中山(路面損傷)→6月20日 14:00～ 規制解除 | | |
| 河川 砂防 | 河道閉塞によるせき止め湖等の可能性があり、今後、雨等により被害が拡大する恐れのある箇所は、「一関市市野々原地区」を含め県内で6箇所となった。 ○県管理 [胆沢川(五松林橋上流左岸)] 堤防天端にクラック有り。L=50m、W=1.5cm、深さ15 | |
| | [磐井川] 斜面崩壊により河道内に土砂流入(2箇所)。2箇所とも水位の上昇がみられないことを確認。 | |
| | [久保川] 小規模な土砂崩落があり。堤防に一部クラック発生。 | |
| | [尿前川(しとまえがわ)] 斜面崩落2箇所確認。 | |
| | ○県管理外 [衣川支川有浦沢川(上衣川有浦地区)] 土砂崩落により河川閉塞。(L=30m、W=3-4m) | 仮排水路を設置済。(奥州市管理普通河川) |
| | [磐井川上流] 斜面崩壊による河道閉塞 4箇所。 ①磐井川(一関市市野々原地区) | ○国土交通省 6月17日13時に記者会見し、市野々原地区の天然ダム(河道埋塞)箇所における直轄砂防災害関連緊急事業の実施を発表。事業費-10.7億円 ・6月21日12時30分 仮排水路開通。 ・6月22日排水ポンプ撤去。 ・監視カメラ3台設置済。 ・上流域にセンサー1基設置済。 ・7月5日仮排水路断面拡大掘削完了・通水開始。 ○県 市野々原地区に通じる重機運搬路を17日中に概成。当該地区への資材の搬入が可能となる。 |

土木関係被害復旧等状況(2)

| | 被害状況等 | 復旧作業状況等 |
|----------|---|---|
| 施設区分 | 7月11日 16時00分現在 | |
| 河川 砂防 | ②磐井川(一関市須川岳国有林内) ③湯尻沢(一関市須川岳国有林内) ⑥一ツ石沢(一関市須川岳国有林内) | |
| | [産女川上流] 山腹崩壊により、1km以上に渡り土砂が堆積。上空からの確認のため、数量などの詳細は不明。 ④産女川(一関市須川岳国有林内) | ○国土交通省 6月21日に直轄砂防災害関連緊急事業での実施を発表。 除石、監視カメラ1台設置 ○県 ・7月11日 災害関連緊急砂防等事業採択 岩手県一関市岡山地区(砂防えん堤工等) 事業費 約2.3億円 ・竜ノ口えん堤にワイヤーセンサーを6月23日に設置完了。 ※上流域には林野庁でワイヤーセンサーを設置。 |
| | [北股川上流] 斜面崩壊による河道閉塞を1箇所確認。 上空からの確認のため、数量などの詳細は不明。 ⑤北股沢(奥州市衣川区増沢地内) | |
| | ・現時点での砂防えん堤の被害報告なし。 | 現在調査中 |
| | ・衣川地区で地すべりの報告 | 表層崩落により今後対応策検討。自主避難4戸18名。 亀裂部分にシート保護を実施。 |
| | | ・TEC-FORCE、砂防ボランティア、県の合計61名が、土砂災害の危険箇所を緊急点検。箇所数は累計1,645箇所。 ※結果：危険度A(要検討)9箇所、危険度B(要詳細調査)52箇所 ※通行止箇所等を除き完了 |
| | 【土砂災害警戒情報】 6月15日から地盤の緩みを考慮し、通常より少ない雨量で発表。 | |
| 都市公園 | ○奥州市管理 見分森公園他5箇所一部被害あり。 ○金ヶ崎町管理 森山総合公園 一部被害あり。 | 開園中 一部立入禁止措置 開園中 |
| 下水道 | ○県管理 [水沢浄化センター] 汚泥消化タンクかくはん機及び、汚泥濃縮機他故障 | 現在調査中 (別系統に運転を切り替えて機能維持しており、運転上は支障なし) |

土木関係被害復旧等状況(3)

| | 対応状況等 | 判定結果 |
|---|--|--|
| 施設区分 | 7月11日 16時00分現在 | |
| 住宅 | <p>○一般住宅(被災建築物応急危険度判定)</p> <p>6月15日14時30分ー県庁に、被災建築物応急危険度判定支援本部を設置。</p> <p>◆一関市 6月17日・19日に市野々原地区他3地区で判定活動を実施。 体制:のべ10名(5班体制)</p> <p>◆奥州市 6月16日～20日に胆沢区、衣川区で判定活動を実施。 体制:のべ136名(66班体制)</p> <p>◆西和賀町 6月16日に川尻地区、白木野地区において判定活動を実施。 体制:県3名(1班体制)</p> | <p>判定結果総計(6月16日～20日) 調査棟数1,161棟ー危険54棟、要注意273棟、使用可能834棟</p> <p>内訳は、次のとおり</p> <p>◆一関市 調査棟数53棟-危険9棟、要注意22棟、使用可能22棟。</p> <p>◆奥州市 調査棟数1,106棟-危険45棟、要注意249棟、使用可能812棟。</p> <p>◆西和賀町 調査棟数2棟-要注意2棟。</p> |
| | <p>○応急仮設住宅等被災者のための住宅対策</p> <p>市町村からの要請</p> <p>◆一関市 被災者が希望する場合の県営住宅への入居について県に要請あり。</p> <p>→一関市(3戸)、奥州市(3戸)、北上市(5戸)内の県営住宅を7月の定期募集から外し、被災者用に当面確保することとし、関係市に通知</p> <p>◆奥州市</p> | <p>一関市:巖美公民館山谷分館(旧山谷小学校)を長期避難先として活用決定し、25日に入居。</p> <p>応急仮設住宅の建設に向けて建設場所等を調整中。</p> |
| | <p>○被災宅地危険度判定(震災後の宅地の安全性を確認するための調査を行うもの)</p> <p>◆一関市 6月17日に判定を実施。 体制:4名(県及び市(盛岡市、花巻市、北上市))</p> <p>◆奥州市 6月19日・20日に判定を実施。 体制:のべ50名(25班ー県9班18名、市町村16班32名) (県以外の参加は、盛岡市、花巻市、奥州市、紫波町、矢巾町)</p> <p>◆西和賀町 6月18日に判定活動を実施済。 体制:県職員3名</p> | <p>◆一関市 危険な地割れの状況が有ることを確認済。今後の対応は、市が行う方針。</p> <p>◆奥州市 調査件数293件 - 危険8件、要注意37件、問題なし248件</p> <p>◆西和賀町 調査件数2件 - 要注意1件、問題なし1件</p> |
| <p>○住宅相談窓口の設置等住宅情報提供</p> <p>・応急仮設住宅の着工について 奥州市の要請を受け7月11日から応急仮設住宅の建設に着手。 (胆沢地区…4戸、石生地区…4戸)</p> <p>・6月19日～今回の地震に対応した住宅相談窓口を設置。 [6箇所] 県南局土木部、一関局土木部、北上局土木部 建築住宅課、県民住宅プラザ(盛岡・水沢)</p> <p>・7月1日～被災住宅の現場で住宅相談に応じる専門家派遣制度を開始。</p> <p>・現地における行政や専門家による特別住宅相談会を開催(予定)</p> <p>◆一関市 7月11日(金)10:00～16:00 巖美公民館 7月25日(火)10:00～16:00 一関市庁舎</p> <p>◆奥州市 7月15日(火)10:00～16:00 衣川総合支所 7月16日(水)10:00～16:00 胆沢愛宕農業者トレーニングセンター</p> | | |